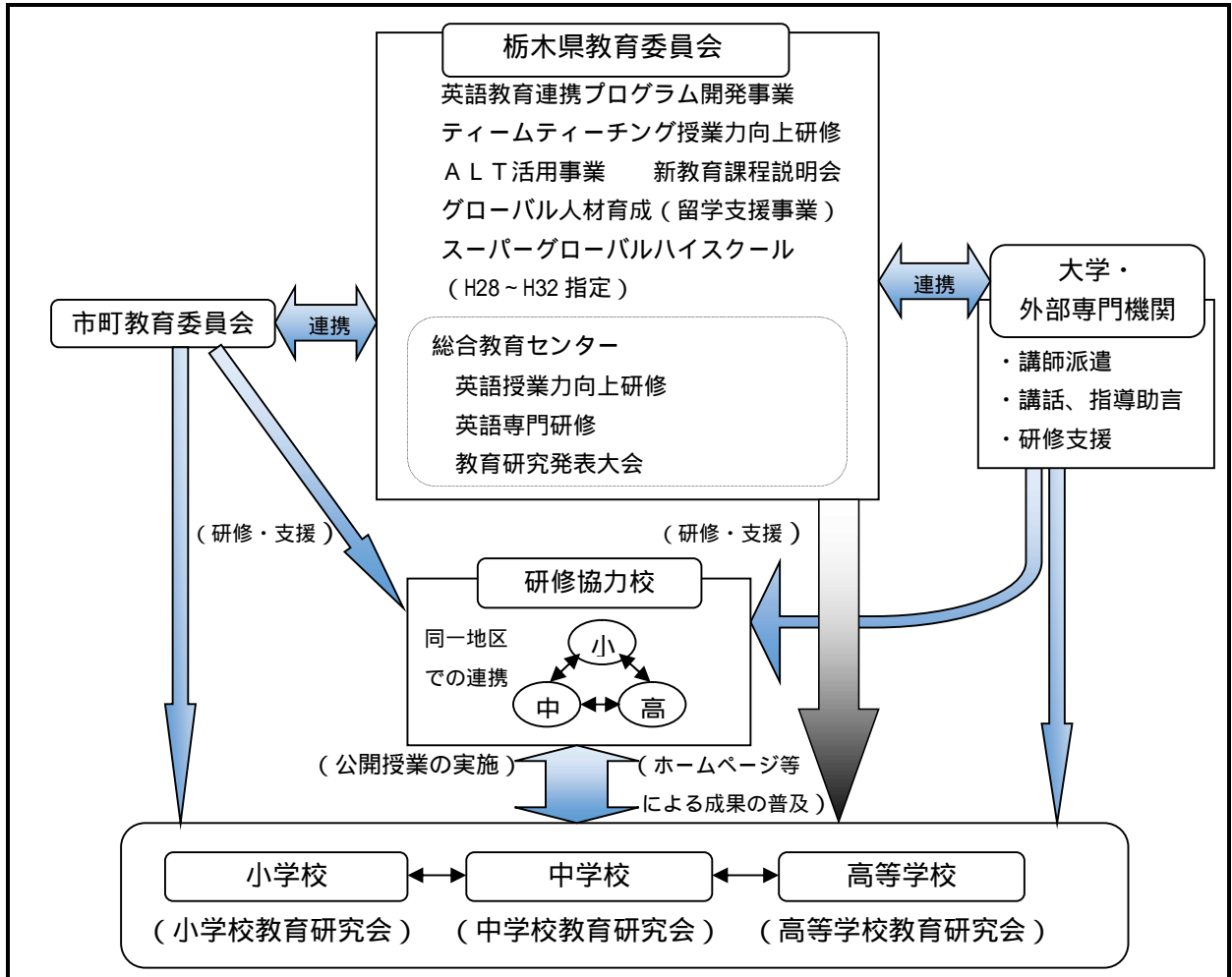


(様式3 - 2)

# 栃木県英語教育改善プラン

## 実施内容

## (1) 研修体制の概要



## (2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

## 英語教育の状況を踏まえた目標管理

【栃木県における英語教育の状況 (平成 30 年度「英語教育実施状況調査」の結果から)】

## 英語教師の英語力について

- ・ 求められる英語力を有する教師の割合は中学校 28.8%、高等学校 66.5%である。
- ・ 資格の有無に関して、英語教師として求められる英語力を十分に備えているとはいえない。
- ・ 研修の機会の提供と教師の英語力の向上をねらいとした研修内容の充実が必要である。

## 生徒の英語力について

- ・ 中学生、高校生とも求められる英語力を有する生徒の割合は中学校 43.2%、高等学校 36.4%である。
- ・ 中学生、高校生ともに求められる英語力を十分に備えているとはいえない。
- ・ 経年の変容から見取ると徐々に向上している。
- ・ 授業において正しい英語に多く触れさせ、教師による適切な英語の活用を通して、生徒の英語力を向上させる必要がある。そのためにも教師の研修の充実が求められる。

## 「CAN-DO リスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況

- ・ 学習到達目標の設定に関しては、中学校 100%、高等学校 100%、公表している学校の割合は中学校 55.8%、高等学校 18.6%である。達成状況の把握は中学校 100%、高等学校では 44.2%である。
- ・ 各中・高等学校において、学習到達目標の整備は進んでいる。
- ・ 中学校においては、公表及び活用についても意識が高まってきている。高等学校においては、

活用はされているが、保護者や地域への公表という点ではまだ進んでいない。

- ・学習到達目標との関連を指導計画に明示するなど、授業改善の視点になっている。
- ・しかし、まだ十分とはいえず、依然として公表・活用について指導が必要だと考える。
- ・学習到達目標の設定の意義と効果的な活用について周知し、学習到達目標を踏まえた指導計画の作成及び授業実践が推進できるよう研修の充実が求められる。

授業における生徒の英語による言語活動の占める割合（半分以上の時間～）

- ・中学校では 84.8%、高等学校では 38.4%の割合で授業において英語による言語活動を実施している。
- ・授業における英語による言語活動の占める割合は高等学校で増えていて、授業改善が図られてはいるが、学科等によるが十分とは言えない。今後はその内容の充実も求められる。
- ・授業において言語活動を位置付ける際、何のための言語活動なのかを意識し、ねらいに沿った効果的な言語活動の実施に向けた研修の充実が求められる。

「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

- ・中学校では全校で実施している。各学年年間平均 3.9 回のスピーキングテスト、3.2 回のライティングテストを実施している。
- ・中学校において、平均して学期ごとにパフォーマンステストが実施されている。
- ・ねらいに沿ったパフォーマンステストの実施のために、3年間を見通した系統的な学習到達目標の設定と適切な活用のための研修の充実が求められる。

授業における英語担当教員の英語使用状況（半分以上使用）

- ・中学校における使用状況は 87.6%、高等学校では 39.8%である。
- ・「英語の授業を英語で」の考え方がずいぶん周知されてきた。
- ・さらに、「英語の授業を英語で」を実践するための英語力の強化、授業力の向上を目指した研修の充実が求められる。

研修実施回数、研修受講者の人数及び全担当教員に占める割合

- ・県、総合教育センター、市町教委が連携した系統的な研修が必要である。
- ・教師の英語力の強化、授業力の向上を目指した研修の充実が求められる。

#### 【2022年度までの目標及び数値指標】

求められる英語力を有する担当教員の全担当教員に占める割合

中学校 50% 高等学校 75%

求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合

中学校 50% 高等学校 50%

「CAN-DO リスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況

中学校 100% 高等学校 100%

授業における生徒の英語による言語活動の占める割合

中学校 98% 高等学校 70%

「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

中学校 8回 高等学校 4回

授業における英語担当教員の英語使用状況（半分以上使用）

中学校 100% 高等学校 70%

修実施回数、研修受講者の人数及び全担当教員に占める割合

中学校 30回 100% 高等学校 40回 100%

#### 【目標を達成するための具体的な手立て】

平成 26～30 年度に実施した「とちぎ英語教育推進中核教員研修」（外部専門機関と連携した英語指導力向上事業）において、教師の英語力の強化と授業力の向上という当初の目的に対して一定の成果が見られた。今後は本プランで設定した成果指標をもとに、これまでの現状を十分に把握、分析し、それらを踏まえて設定した目標を、適切に管理する。

平成 31 年度からは、新規事業である「英語教育連携プログラム開発事業」において、教員の英語力

の強化と指導力の向上に加え、地域素材を活用した小・中・高英語教育連携プログラムを開発、実践し、各地区のモデルとして発信していく。その他、総合教育センター、各市町教育委員会、外部専門機関と連携して研修の充実に努める。

また、新規事業である「高等学校ALT活用事業」において、ALTを授業等で活用し、ALTとJTE間におけるインタラクションを増加させることにより、教員の英語力の強化を図る。また、授業においてディベート、ディスカッション、プレゼンテーション等の言語活動を充実させることにより、生徒の英語による論理的思考力や発信力の強化を図る。

### (3) 研修の体系と内容の具体

#### 【「英語教育連携プログラム開発事業」研修内容の具体】

##### 1. 目的

小学校の早期化・教科化に対応するため、小学校と中学校・高等学校の教員がともに学び、英語力・指導力を向上させるとともに、地域素材を活用した小・中・高連携プログラムを開発し、英語教育の充実に努める。

##### 2. 研修対象者と人数

小学校教員 10 名、中学校英語担当教員 20 名、高等学校英語担当教員 5 名 合計 35 名

##### 3. 研修協力校

研修協力地区を毎年度指定。地区内から小・中・高各 1 校を研修協力校に指定し、各校から 1 名ずつ、本研修を受講する教員を選出する。

##### 4. 内容

#### (1) 校外研修

##### 第 1 回研修会

- ・研修の趣旨説明
- ・小・中・高合同班結成、班別協議
- ・調査官による講話、パネルディスカッション

##### 第 2 回研修会「イングリッシュキャンプ」(宿泊研修)[外部専門機関に委託]

- ・教師自身の英語力の強化
- ・連携プログラム作成及びプレゼンテーション

##### 第 3 回研修会

- ・大学教授等による講話・演習
- ・班別協議によるプログラム検討
- ・公開授業等についての打ち合わせ

##### 第 4 回研修会

- ・連携プログラムの実践
- ・研修協力校会場での授業研究会(小学校)
- ・大学講師による講話・指導助言

##### 第 5 回研修会

- ・連携プログラムの実践
- ・研修協力校会場での授業研究会(中学校)
- ・大学講師による講話・指導助言

##### 第 6 回研修会

- ・連携プログラムの実践
- ・研修協力校会場での授業研究会(高等学校)
- ・大学講師による講話・指導助言

- ・地域素材を活用した連携プログラムの考案、実践、及び成果のホームページ等での公表
- ・研修報告書、映像資料、研修成果活用報告書等の提出を義務付ける。

#### (2) 校内研修

- ・研究課題に基づく実践研究の推進
- ・学習到達目標の設定と活用を意識した授業実践

- ・公開授業（校内）の実施と映像資料の作成
- ・研修成果報告書の作成

## (4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	・平成31年度「英語教育連携プログラム開発研修」受講者の決定【小学校10名・中学校20名・高等学校5名】	
5月	<b>第1回研修会</b> 研修の趣旨説明、・小・中・高合同班結成、班別協議 調査官による講話、パネルディスカッション	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修協力校への支援（年間を通して）</li> <li>・校内研修</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習到達目標の設定と活用、年間指導計画、シラバス等の整備</li> <li>・研究課題の設定、公開授業（校内）の実施、</li> <li>・映像資料・レポートの作成</li> </ul> </div>	
7月		
8月	<b>第2回研修会「イングリッシュキャンプ」</b> （宿泊研修） 宿泊を伴う研修、教師自身の英語力の強化 連携プログラム作成及びプレゼンテーション	民間専門機関への委託
9月	<b>第3回研修会</b> ・大学講師による講話・演習、班別協議によるプログラム検討 ・公開授業等についての打合せ	大学等
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">           課題の解決を目指した授業実践            校内における公開授業及び授業研究会の実施            映像資料の作成         </div>	
11月		<b>第4回研修会</b> ・連携プログラムの実践 ・研修協力校会場での授業研究会（小学校） ・大学講師による講話・指導助言
12月	<b>第5回研修会</b> 研修協力校会場における公開授業・授業研究等 ・連携プログラムの実践 ・研修協力校会場での授業研究会（中学校） ・大学講師による講話・指導助言	大学等
1月	<b>第6回研修会</b> ・連携プログラムの実践 ・研修協力校会場での授業研究会（中学校） ・大学講師による講話・指導助言	大学等
2月	・「成果報告書」のまとめ 報告書・映像資料の提出	
3月	・研修成果のホームページ等での公表	

**【その他の取組】**

- ・その他の研修 「**チーム・ティーチング授業力向上研修**」(H26 度より CLAIR 予算で実施)
- ・総合教育センターにおける研修
- 「**英語授業力向上研修(小学校・中学校・高等学校)**」「**英語専門研修**」「**教科指導の充実**」  
英語教育推進リーダーを「**英語授業力向上研修(小学校・中学校・高等学校)**」で活用
- ・各市町教育委員会における研修

